



安全に手術を受けるための準備 ～スキンケア編～

人の身の回りには、様々な菌が存在していますが、人の皮膚は菌から防御するバリア機能があるため、感染症を引き起こすことはありません。しかし感染症を引き起こす原因として、免疫力や抵抗力の低下が大きく挙げられます。全身麻酔下で手術を受けたあとは、手術や麻酔の影響などで免疫力や抵抗力が著しく低下します。そのため手術前から感染源となる菌をできるだけ取り除き、皮膚のバリア機能を保つことで、手術後の感染のリスクを抑えることができます。

下記のチェックポイントを確認していただき の対応をお願いいたします。

✓ 【チェックポイント】

白癬(水虫)の症状はありませんか？《爪の肥厚や変色、指の間の皮剥け、水ぶくれなど》

⇒ 細菌による二次感染を起こすリスクがあります。



疑わしい症状がある場合は皮膚科に受診してご相談ください。

診断結果とお薬の情報を次回来院日や電話にて外来看護師に伝えてください。

皮膚に傷や火傷、虫刺されはありませんか？

⇒ 外傷は菌の温床です。



傷が出来てしまった時は医師または外来看護師に相談してください。

虫歯はありませんか？

⇒ 麻酔中の呼吸を助けるためのチューブを口から喉へ入れるときに、虫歯菌が呼吸器官に入ってしまうリスクがあります。

また口の中に住んでいる菌が血液の中に入り込み別の場所へ感染が波及する恐れがあります。

歯科に受診して結果を次回の来院日、または電話にてお知らせください。

抜歯が必要な場合は医師または外来看護師に相談、報告してください。

診察の際に歯科医に手術する旨をお伝えください。

手術前に歯科治療を開始しておく必要があります。

アトピー性皮膚炎などの皮膚疾患はありませんか？

⇒ バリア機能が低下しているため、少しの刺激で皮膚に炎症が生じてしまいます。

特に手術部位周囲はリスクが高くなります。

皮膚科で処方されている薬があれば入院日にご持参ください。

手術部位周辺にかゆみ、湿疹や乾燥がある部分を外来看護師にお伝えください。

テープ剤や湿布でかぶれたりしませんか？

⇒ テープ剤に対するアレルギー反応と手術による炎症反応により、皮膚トラブルが生じる可能性があります。

かぶれる場合はテープ剤の変更または皮膚保護剤の塗布を行います。どのような材質によって、

どのような症状が出現したことがあるのか、詳細を医師または外来看護師にお伝えください。

皮膚の乾燥はありませんか？

⇒ 皮膚が乾燥することにより、皮膚のバリア機能が低下してしまいます。

乾燥している場合は、ボディークリームやローションを塗って保湿に努めてください。